住まいのFP診断
ヒアリングシート

住まいのことを考えるときにまず行うべきなのは、モデルハウスを見てまわることでも
住宅会社のカタログを見ることでもありません。

長い人生において、いつが最適な購入のタイミングなのか、
また、将来のことも考えて無理なく購入するには どのくらいの予算が適切なのか、
教育費・老後資金が大きくなってくる時に生活が苦しくならないか…
そのような人生設計をしっかりと把握して、
住まいのお金に関する計画を　自分でしっかりと持つことが大切です。

また同時に、住宅取得に関して「知っているだけで得をする」知識も色々あります。
そういった知識を持っておくことにより、住宅の予算をアップさせることも可能になります。
「住まいのFP診断」ではそのようなお手伝いをさせて頂きます。

www.relife-club.jp

ご記入の流れ

1. 基本世帯状況について
↓
2. 家計の支出状況について
↓
3. 住まいについて
↓
4. 住宅取得のための資金について
↓
5. 老後生活の資金について

・わからない部分については、おおよその数値でご記入いただいて大丈夫です
・本シートにご記入いただいた内容に関しては、お客様に「住まいのFP診断」を
行う以外の利用は一切行いません

ご記入者	

FAX:

宛

1. 基本世帯状況 について

まずは、基本的な世帯構成について伺います。
現在一緒に住んでいる方、また、今後一緒に住む予定の方、生計を一緒にしている方を教えてください。

1）世帯主様について教えてください

お名前		生年月日	年 月 日	ご年齢	歳

2）家族構成についてご記入ください。それぞれ該当する方にチェックをつけ、年齢をご記入ください

↓家族構成に当てはまる方にチェックをつけてください

☐	配偶者	お名前	生年月日	年 月 日	ご年齢	歳

【お子様】

☐	第1子	お名前	生年月日	年 月 日	ご年齢	歳
☐	第2子	お名前	生年月日	年 月 日	ご年齢	歳
☐	第3子	お名前	生年月日	年 月 日	ご年齢	歳

※3年後にお子様をお考えの場合は、年齢記載箇所に「−3」歳とマイナス表記で記載ください。

【その他、今後同居予定・家計が同一の方】

（例）	✓	祖父	お名前 太郎	生年月日	昭和19 年 1 月 1 日	ご年齢	72 歳
☐			お名前	生年月日	年 月 日	ご年齢	歳
☐			お名前	生年月日	年 月 日	ご年齢	歳

3）世帯の収入状況についてご記入ください（収入がある部分のみご記入ください）
年収は税込み年収（源泉徴収票で金額がたくさん並んでいる中の一番左側、支払金額の部分の額です）を記入してください

① 給与所得

	勤務先名	勤続年数	年収（税込）
世帯主		年	万円
配偶者		年	万円

② その他の収入（年金収入、アパート経営など）

	収入の内容	年収（税込）
1）		万円
2）		万円

4）人生の三大支出のうちの1つが「子供の教育資金」です。お子様がいらっしゃる方、今後予定されている方、将来のことはもちろんわかりませんが、どのような教育計画を立てておきますか？

	幼稚園	小学校	中学校	高 校	大 学		
第1子	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 文系 ☐ 理系	☐ 1人暮らしする ☐ 自宅から通う
第2子	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 文系 ☐ 理系	☐ 1人暮らしする ☐ 自宅から通う
第3子	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 公立 ☐ 私立	☐ 文系 ☐ 理系	☐ 1人暮らしする ☐ 自宅から通う

2. 家計の支出状況 について

次に、家計から出て行っているお金について見つめ直します。
「入るを量りて出ずるを為す」きちんと出ていっているお金の内訳について把握できていますか?

1）月々の家計の支出を記入してください。月によって異なる項目もあると思うので、1年を通じた平均値で
ご記入いただいて結構です

項目		月間支出額	主な内容
基本生活費	食費	万円	
	水道光熱費	万円	**水道代、電気代、ガス代等**
	交通通信費	万円	**電話代、携帯電話代、電車代、インターネット代等**
	日用雑貨費	万円	**家事消耗品、雑貨、寝具等**
	洋服	万円	**年間の被服費を分割して計上**
	趣味娯楽費	万円	**英会話、スポーツジム、タバコ、旅行…等**
住居費		万円	**住宅ローンや家賃以外の管理費・修繕積立金・維持費・駐車場代等**
教育関連費		万円	**塾、習い事等。授業料に関しては含まないでください。（別途計算有）**
自動車関連費		万円	**ガソリン代、自動車税**
交際費		万円	**冠婚葬祭、贈り物**
医療費		万円	**医療費、通院費用、薬代**
その他雑費		万円	**ご主人、奥様のおこづかい等**

生命保険については、貯蓄と考えられるものと支出と考えられるものがあります。保険の内訳を記載ください

保険の種類	定期保険	終身保険	養老保険	医療保険	学資保険	その他
月々の保険料	円	円	円	円	円	円
種　類	掛け捨て　積立	掛け捨て　積立	掛け捨て　積立	掛け捨て　積立		掛け捨て　積立
満期年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳
満期額	千円	千円	千円	千円	千円	千円

2）その他、数年に1度単位で必要になる大きな支出についてご記入ください。
一般的には車、数年に一度行くような旅行などです。

	支出の内容	1回の金額	頻 度
1）		万円	年に一度くらい
2）		万円	年に一度くらい

3）毎月の支出の中で、現在ローンを組んで返済しているものがあればご記入ください。一般的には自動車の
ローンや、ショッピングのローンなどです。これらは、住宅ローンの借入可能額に大きな影響を及ぼします。
場合によってはローンが借りられないこともあります。忘れているカード返済がないか、しっかり確認しましょう。
スマートフォン分割払いなども含む

	ローンの内容	ローン返済額	残年数
1）		月　万円	年
2）		月　万円	年

3. 住まい について

次は、今の住まい、これからの住まいについてお聞きします。今の考えで結構ですのでお聞かせください。

1）現在の住居形態について、当てはまるものにチェックを入れ、内容を記入してください

☐ 賃　貸（社宅含）

家賃（共益費・駐車場代込み）	万円	居住年数	年

☐ 持　家

種類	一戸建て ・ マンション	ローン返済額	月　万円	残年数	年

☐ 同　居

月々の住居支払額（あれば）	万円

2）今後住みたいと思っている建物、土地についてご記入ください

① 建物の広さ・予算

希望の広さ	m²・坪
建物予算	万円

② 土地の購入も考えている場合、土地の条件

希望地域	
希望面積	m²・坪
土地予算	万円

4. 住宅取得のための資金 について

もう残りも少しとなってきました。あと一息、頑張ってください!
今度はその住まいを取得するための資金について伺います。

1）現在まで貯蓄をしていましたか?まずはトータルで今どれくらい金融資産があるか確認してみましょう

預貯金	円	その他	円
財形貯蓄	円	合計	円
株式・債券・投資信託等	円		

2）今後、見込めそうな臨時収入があれば記入してください。「株が値上がりする」など不確定要素が大きいものは見込まず、「退職金」「生命保険の満期金」など、可能性が高いもののみ記入ください

項目	時期	金額
退職金	年後に	万円くらい
生命保険満期金	年後に	万円くらい
保有不動産の売却	年後に	万円くらい
（　　）	年後に	万円くらい
（　　）	年後に	万円くらい

3）自己資金以外の部分は住宅ローンを組むことになります。自己資金と住宅ローンについて伺います

① 住宅購入の自己資金について、現在のお考えをご記入ください

自分の貯蓄から		親などからの援助		その他		自己資金合計
	万円 ＋		万円 ＋		万円 ＝	万円

② 毎月のローン返済額は、いくらぐらいを想定していますか

万円 / 月

5. 老後生活の資金 について

いよいよ最後です。最後は人生三大支出の1つ、老後の資金についてです。
老後資金の大きな収入源である年金は制度改正が何度も行われているうえに、制度が複雑になっています。
皆さんが老後世代を迎える前に、現行とは年金制度が変わっている可能性も高いため、本診断では
現行の制度が継続したと仮定して、おおよその数字を把握しておくことにします。

1） まずは、現在加入している年金の種類についてお伺いします

ご主人様	国民年金 ・ 厚生年金
奥様	国民年金 ・ 厚生年金

2） 自分が現役引退後、今の制度で年金はいくらぐらいもらえるかご存じですか？
おおよその額でけっこうですので、ご記入ください

ご主人様	月	万円くらい	奥様	月	万円くらい

3） 将来もらえる年金の詳細については、現役世代のときに年金制度に加入していた年数と、その間に
もらっていた報酬（給与・賞与）の額によって異なってきます。
今までの加入状況についてご記入ください（ねんきん特別便等がお手元にあれば参考にしてください）

<ご主人様>

時 期	種 類	期間年収
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円

<奥様>

時 期	種 類	期間年収
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円
年 月 日～ 年 月 日	国保 ・ 厚生	万円

大変おつかれさまでした！以上で質問項目は終了です。
いかがでしょうか？こうやって考えをまとめるだけでも、だいぶ頭を整理することができたのではないでしょうか。
「住まいを考える前に人生設計全体を考える」 というのは、こうやって生涯の収入支出や、老後の暮らし方、教育や親世帯との関わりなど、人生全体を総合的に考えなければ、まず家を買うのが良いかどうかが判断できないためです。こういうことを一緒になってしっかりと考えてくれる人、会社と一緒に住まいづくりを進めるのが、成功する第一歩だと思います。１週間ほどで分析結果をお届けします。
その結果を踏まえて、じっくりと考えていただき、幸せな人生設計ができますことを願っております。